

令和7年度 黒部市吉田科学館事業計画（案）について (2025年度)

1. 黒部市吉田科学館の基本方針

- (1) 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場を提供する
- (2) 自然の不思議に感動し、創造や発見の喜びを知る場を提供する
- (3) 誰もが楽しめる科学・文化活動の場を市民^{*}と共につくる
- (4) 幅広く外部と協力し、地域学習・探究活動を支援する
- (5) 科学博物館として持続可能な地域づくりに貢献する

※市民：黒部市民に限らず広く同じ目的を持つ同志を意味する。

2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



3. 令和7年度（2025年度）の主な事業について

科学館事業

- (1) 特別展 さわる地球・宇宙 展
- (2) 企画展 鉱物 展
- (3) オリジナルプラネタリウム番組

・メイン事業

項目	内 容	予算 (単位:円)		
特別展	<p>(1) さわる地球・宇宙 展 (仮題) 実施時期：7月～9月頃 展示内容： 2024 年度の「さわる宇宙展」の再展示に加えて、地球の特徴的な地形や黒部の地形も触れるように展示し、地球から宇宙までシームレスにつなぐ展示とする。 引き続き視覚障害関係の団体や専門家と協力し、目の不自由な方でも楽しめる展示を作製する。</p>	消耗品費 委託費 印刷製本費	40,000 50,000 50,000	
		小 計	140,000	
企画展	<p>(2) 鉱物展 (仮題) 実施時期：11月～翌年2月頃 目的・ねらい： 地球科学の最小構成単位とされる鉱物を通して、物質科学にふれるきっかけをつくる。</p> <p>展示内容： 2021 年より調査研究・整理を進めている下坂コレクションを活用する。 当館に収蔵されている鉱物標本を中心に、岩石や鉱物標本を展示する。また、3D プリンターで原子模型を作成し、性質を理解できるようにする。十字石や、宇奈月花崗岩のジルコンなど、地域との結びつきも紹介する。 これまでの特別展と同様に、ハンズオン型で五感に訴える展示を作製する。</p>	消耗品費 委託費 通信運搬費 印刷製本費	90,000 100,000 100,000 50,000	
		小 計	340,000	
連携イベント	■ 鉱物関連の講演会	諸謝金 旅費交通費	30,000 2,000	
		小 計	32,000	
		計	512,000	<参考> 前年度企画展： 1,000,000 円 (企画展と特別展を交互で開催しており、令和6年度は予算規模が大きい特別展開催年のため)

・メイン事業

項目	内 容	予算 (単位 : 円)		
新作番組	<p>(3) (主) オリジナルプラネタリウム番組</p> <p>タイトル：ユニバーサルデザイン プラネタリウム（仮題）</p> <p>投映期間：令和 7 年 7 月中旬～12 月※ ※春夏秋冬の各バージョンを制作し、投映期間後も申込みに応じて団体投映時間等に投映できるようにする。</p> <p>目的・ねらい：障害のある人もない人も、ともに楽しむことができるユニバーサルデザインのプラネタリウム番組を投映し、より多くの方に星空や宇宙の科学に興味を持つてもらう。</p> <p>番組内容：手で触る立体星図、漫画の吹き出しありの読みやすい字幕、5.1ch サラウンドによる立体的な音響などの工夫を凝らし、視覚障害や聴覚障害のある方々も楽しんでもらえる番組を目指す。親しみやすく分かりやすい内容となるように登場人物や物語性を加味し、ユニバーサルデザインの精神を大切にした番組にする。</p> <p>※特別展「さわる宇宙展」との連携投映</p>		800,000	
再投映 番組	<p>(4) (主) オリジナルプラネタリウム番組再投映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイトル：ウォーターランと水めぐりの旅 ～大地は生きている！の巻～ (2024 年制作) <p>投映期間：令和 7 年 4 月～7 月上旬</p> <p>番組内容：黒部の名水キャラクター「ウォーターラン」が、黒部峡谷を舞台に温泉やパンダ石の秘密を解き明かします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイトル：37 億 5 千万年の旅 ～ジルコンじいさんが語る地球の歴史～ (2011 年制作・2018 年デジタルリメイク) <p>投映期間：令和 8 年 1 月～3 月</p> <p>番組内容：黒部川の石たちが、宇奈月で発見された日本一古い鉱物ジルコンじいさんと共に時空を越える旅に出発する。地球誕生の歴史や生命の進化を解説する番組。</p> <p>※企画展「鉱物展（仮題）」との連携投映</p>			
		計	800,000※	※オリジナル番組制作委託料は黒部市生涯学習文化課予算より

・特別事業

項目	内 容	予算 (単位 : 円)		
特別事業 (日常の科学・地域の科学・宇宙の科学)	(5) (主) GW、お盆期間のイベント開催 来館者が増える大型連休期間にワークショップなど開催。 (6) (主) 科学館ウイーク (仮) 11/15 (土) ~24 (月・振休) 子どもから大人まで、気軽に科学館を楽しんでもらうため、科学館の3つのコンセプトに基づいたイベントを開催する。関連施設の協力も得ながら多数のイベントを企画したい。	消耗品費 消耗品費 旅費交通費 諸謝金 食糧費 印刷製本費 通信運搬費 委託費	10,000 80,000 20,000 20,000 20,000 150,000 70,000 10,000	ちらし印刷紙代 (一部日常の科学に計上) 景品代等 講師旅費 講師謝金 講師・ スタッフ昼食 ホスター・ちらし 県内学校配布 駐車場誘
		計	380,000	<参考> 前年度予算 562,000 円

日常の科学

項目	内 容	予算 (単位 : 円)		
講座体験事業	<p>■ 工作教室 (7) (主) 親子工作教室 (外部講師による教室・年3回程度) (8) (主) イベントでの工作、団体工作 (9) (主) 折り紙ヒコーキ工作教室 (年1回)</p> <p>■ サイエンスショー (年3回切替え) (10) (主) 日常生活に関するテーマでの実験ショー 5~8月「水のふしき」 9~12月「熱のふしき」 1~4月「力と運動のふしき」 (平日午前予約制 午後1回、 土日祝日2回開演)</p> <p>■ クラブ活動 (共催事業) (11) (共) 黒部少年少女発明クラブ(月1回程度) (12) (共) 小学校クラブ活動の指導</p> <p>■ 出前工作教室 (13) (共) 科学の祭典 (富山大会) 8月開催予定</p> <p>■ プログラミング事業 (14) (主) プログラミング体験教室 (15) (主) ドローン教室 (16) (主) 星空プログラミング in 黒部 小学校4~6年生を対象に、プラネタリウム番組制作およびドームでの投映発表</p>	(工作教室) 消耗品費 (折り紙) 消耗品費 食糧費 賃借料 印刷製本費 通信運搬費 諸謝金	25,000 65,000 20,000 15,000 10,000 40,000 30,000 30,000	定例工作教室 イベント工作等 協会準備金 講師マツフ昼食 会場賃借料 ちらし印刷 ちらし配布 司会マツフ等
		消耗品費	100,000	(1テーマ 50,000×3)
展示事業	<p>■ 常設展 (17) (主) 体験型展示物の設置・管理</p> <p>■ 児童作品展示会の実施 (18) (共) 魚津地区理科自由研究発明くふう参考展 (19) (共) 黒部市少年少女発明くふう展 (20) (共) 黒部市小中学校児童生徒科学作品展覧会</p>	諸謝金 消耗品費 旅費交通費	64,000 10,000 5,000	プログラミング教室
		消耗品費	50,000	
				(発明クラブ予算より支出)
調査研究事業	<p>■ 調査研究 (21) 発明クラブ会合出席 (22) 他館への視察等</p>	旅費交通費	20,000	視察等
		計	484,000 円	<参考> 前年度予算 549,000円

地域の科学

項目	内 容	予算 (単位:円)		
展示事業	<p>■ 常設展示 (23) 身近な石の展示 (24) 外部団体写真展 年2回</p>			
講座体験事業	<p>■ 岩石標本公開 (25) 常設されていない岩石標本を一般向けに公開する日を設ける(5回程度)</p> <p>■ 講座体験事業 (26) (主・共)ジオパーク体験講座 • フィールドウォッチング • 岩石鑑定(1回程度) • 海岸での石観察 • 川の生き物観察(2回程度) • 野鳥観察 • 雪の観察 • 富山湾の丸さを体感するワークショップ</p> <p>(27) (共)くろべ水の少年団 (6~8月・年7回)</p>	(自然教室) 旅費交通費 貸借料 諸謝金 食糧費 小計	10,000 170,000 20,000 5,000 205,000	外部講師・ ボランティア旅費 バス4回 観察会謝金 ボランティア食事代
プラネタリウムドーム事業	<p>■ 立山黒部ジオパーク映画の上映 (28) (主)ジオパーク映画の投映 (29) (共)市内小学校対象の学習投映</p>			
調査研究事業	<p>■ 調査研究 (30)立山黒部ジオパーク協会 ワーキンググループへの参画 (31)関連研修会、学会への参加・発表 (32)岩石標本の収集・整理・研究 (33)富山湾の丸さの調査 (34) (共) 3Dプリンターを用いた教材開発 (35) (共) 「剣の山」教育効果の検証 (36)論文執筆</p>	旅費交通費 支払負担金 消耗品代 委託費 貸借料 印刷製本費	422,000 (78,000) (63,000) (119,000) (100,000) (52,000) (10,000) 43,000 120,000 10,000 5,000 20,000	千葉4日間 福井3日間 北海道6日間 鹿児島3日間 神奈川3日間 北陸内 日帰り 複数回 参加費 ワークショップ開発材料費 英文校正 WiFi賃借料 論文別刷
		計	825,000	<参考> 前年度予算 590,000円

地域の科学

項目	内容	予算（単位：円）		
フィールド ミュージアム事業	<p>■黒部川扇状地フィールドミュージアム推進協議会の資源を活用し、当館が協議会の事業を引き継ぎ、フィールドツアーや扇状地の水質調査を継続して行う（9年目）。</p> <p>(37) (主)ジオ&みずはくツアー 黒部川扇状地の成り立ちと水・自然・歴史をバスで巡る体験型フィールドツアーア。季節や水循環、自然、動植物などテーマを変えながら年5回開催。</p> <p>(38) (主)ジオ&みずはく団体ツアー 黒部川流域の名水スポットや自然・歴史等の名所を巡り、黒部川の水循環を知りたい方に解説ボランティアを派遣 (開催日1か月前までに申込)。</p> <p>(39) (主)黒部川調査隊 黒部川の流れの速さ、温度、水質など実際にふれてもらいながら学んでもらう体験教室。</p>	諸謝金 旅費交通費 賃借料 印刷製本費 通信運搬費 消耗品費	270,000 20,000 748,000 300,000 51,000 135,000	講師、ツアーリーダー謝礼 講師旅費 バス賃借料 ポスター、チラシ印刷費 ポスター郵送費 ツアーリーダー消耗品
調査研究 事業	<p>■調査研究</p> <p>(40) 黒部川扇状地の湧水調査（黒部市内）</p>	消耗品費 修繕費 燃料費 旅費交通費	100,000 20,000 15,000 20,000	調査備品 備品修繕 調査用移動車ガソリン 研修出席旅費

※収入（見込） 黒部市補助金 3,000,000 円 ツアーリーダー参加費 50,000

宇宙の科学

項目	内容	予算(単位:円)		
プラネタリウムドーム事業	<p>■ プラネタリウム投映</p> <p>(41) (主)一般番組 (科学番組・子ども向け番組) ※サブスクリプション制を活用し、年間5本の番組を導入。幼児や児童向け番組、一般向け科学番組、アニメキャラクターフィルムなど幅広いニーズに合わせて番組を投映する。</p> <p>(42) (主)職員生解説番組 (星空解説と Mitaka)</p> <p>(43) (主)学習番組 小学4年生・中学3年生向け投映</p> <p>(44) (主)オリジナル番組一挙投映(年1回) 科学館が過去作成したオリジナル番組の一挙投映日</p>	賃借料 印刷製本費 委託費 通信運搬費 諸謝金	3,300,000 300,000 280,000 230,000 60,000	一般番組賃借料 プリント年4回 デザイン委託年4回 スター等送付年4回 生解説投映
	<p>■ プラネタリウムドーム多目的利用</p> <p>(45) (主)ヒーリングプログラム(年2回程度) 星と音楽の夕べ、熟睡プラ寝たリウム</p> <p>(46) (主)天文講演会(年1回程度) 七夕講演会等</p> <p>(47) (主)プラネタリウムショー(年1回)</p> <p>(48) (主)プラネタリウム個人貸切利用プラン 毎月第4土曜日(16:00~17:00)を設定し、1組(10名まで)3,000円で希望番組を投映する</p>	消耗品費 消耗品費 賃借料 諸謝金 食糧費 旅費交通費 印刷製本費 通信運搬費	40,000 10,000 10,000 150,000 20,000 70,000 200,000 50,000	プラネリューム機器等 ヒーリング消耗品費 音楽使用料 講演会・プラネショ等 講演会・プラネショ等 講演会・プラネショ等 講演会・プラネショ等 講演会・プラネショ等
講座体験事業	<p>■ 天文教室</p> <p>(49) (主)星空観察会(月1回)</p> <p>(50) (主)初めての天体望遠鏡教室(年1回)</p> <p>(51) (共)出前天文教室 くろべこども自然体験村・星空トロッコでの星空解説</p>	諸謝金 消耗品費	90,000 15,000	講師 望遠鏡関連
展示事業	(52) 宇宙関連の常設展示・天文現象などの写真展示	消耗品費	10,000	
調査研究事業	<p>(53) 総会、研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本プラネタリウム協議会総会、研修会 北陸プラネタリウムWG研修会 全天周映像に関する研修会 プラネタリウム館への視察 <p>(54) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 全天周映像を用いたオリジナル番組制作 プラネタリウム番組制作ソフトの活用 	消耗品費 消耗品費 旅費交通費 支払負担金	15,000 20,000 60,000 10,000	各資料購入費用 ワークショップ開発材料費 研修参加費等
		計	4,940,000	<参考> 前年度予算 5,203,000円

連携事業

内 容	予算 (単位 : 円)		
(55) 他博物館との連携事業 ・ 黒部市内博物館等施設スタンプラリー ・ 他博物館との連携イベントの開催			

事務局運営

内 容	予算 (単位 : 円)		
(56) 広報活動 ・ 地域広報誌等での広報活動 ・ ホームページ、SNSでの広報活動			
(57) 年報の発行	印刷製本費	50,000	年報
(58) 来館者アンケートの実施			
(59) 研修 科学博物館協議会等の研修への出席、視察研修等	旅費交通費	20,000	